

J R 福知山線脱線事故から9年！ 私たちは事故の風化を許さない！

4月25日、あのJ R 福知山脱線事故から9年が経ちました。私たちJ R 東海労関西地本はJ R 西労の仲間と共に、事故現地慰霊行動に参加してきました。



(大邱地下鉄労組の仲間達)



(想いを掲げた横断幕)

当日は韓国の大邱地下鉄労組の仲間も参加しました。2003年2月に発生した韓国大邱地下鉄の火災事故でも、地下鉄公社の安全対策が問題にされましたが、地下鉄労組の組合員だけが、逮捕・起訴されました。いずれの事故も、営利を優先し不安全な企業体質を作り上げた経営幹部による企業犯罪に他なりません。事故から9年、当時の関係者には何ら刑事罰



(現地を前に)

は下されていません。事故の原因究明より、個人の責任を追究する企業体質はJ R 各社とも共通しています。

私たちは事故現場を前にして、改めて安全軽視、営利優先、事故の責任を個人の責任に転嫁する会社の企業体質を許さない決意をうち固めました。

当日は事故現場での黙祷、献花による慰霊行動終了後は、福島区民センターで開催された、西労の集会に参加しました。